

2025 年度
【修士課程】

早稲田大学大学院文学研究科
専門科目 社会構築論 コース

入学試験問題
※解答は別紙（横 書）

大問 1.

次のキーワードから 2つ 選び、それぞれ 800 字程度（または、2つを組み合わせて 1600 字程度）で、キーワードの意味、及びそれに関連する社会課題について解説しなさい。

キーワード：

インターセクショナリティ
構造的暴力
移行期正義
バーチャルウォーター
マイクロプラスチック
当事者研究
近代家族
ホモソーシャル
オーラルヒストリー

大問 2.

以下の課題 1・2の中から 1つ 選び、答えなさい。なお、どちらの課題を選択したかを明確にするために、解答の冒頭部分に **課題**

1 または **課題 2** と明記しなさい。

課題 1

世界各地で内戦・戦争などの直接的暴力、人権侵害や迫害、環境破壊や気候変動などによる難民・国内避難民が年々増加している。ウクライナ戦争において多くの一般市民が国内外への避難を強いられてきたことも周知のとおりである。そんななか、日本政府は「ウクライナ避難民」として 2,600 人以上（2022 年 3 月からの累計、2024 年 7 月 31 日現在、2,667 人）の人々を受け入れ、一時的な滞在許可を付与するほか、一時滞在先での生活支援を行ってきた。欧米の諸外国と比べ、難民認定に厳しすぎるとも評される日本の難民政策であるが、ウクライナから受け入れた人々を条約に基づく難民として審査するのではなく「避難民」として受け入れたことについて評価せよ。そのうえで、今後、世界各地からの難民申請者に対する日本政府ならびに日本の社会が取り組むべき方向性や具体策について論ぜよ。

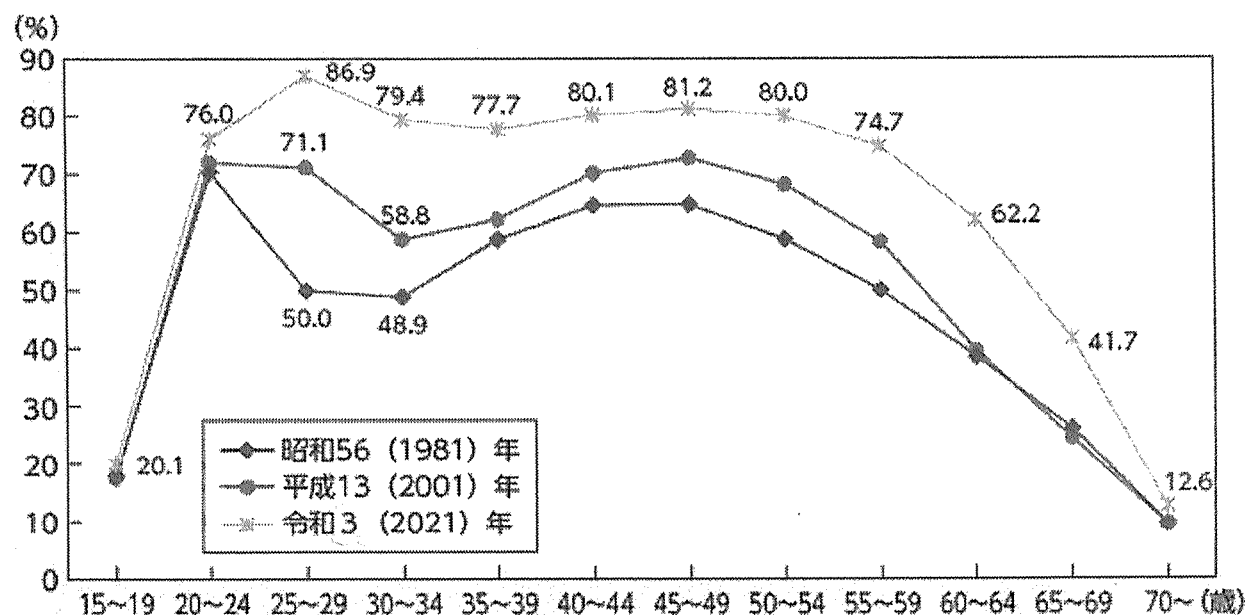
課題 2

次ページの図表は、（1）『男女共同参画白書 令和 4 年版』に掲載されている「女性の年齢階級別労働力率（M 字カーブ）の推移」、および（2）男女共同参画局ウェブサイトに掲載されている「男女共同参画に関する国際的な指数」である。ダイバーシティ & インクルージョンという観点から、以下の図表から読み取れる社会的な課題を述べよ。その上で、その課題の解決に必要な地域社会や市民社会の取り組みに関連した構想案について述べよ。

(1) 女性の年齢階級別労働力率（M字カーブ）の推移

2-4図 女性の年齢階級別労働力率（M字カーブ）の推移

○女性の年齢階級別労働力率（M字カーブ）について昭和56（1981）年からの変化を見ると、昭和56（1981）年は25～29歳（50.0%）及び30～34歳（48.9%）を底とするM字カーブを描いていたが、令和3（2021）年では25～29歳が86.9%、30～34歳が79.4%と上昇しており、以前よりもカーブは浅くなり、M字の底となる年齢階級も上昇。



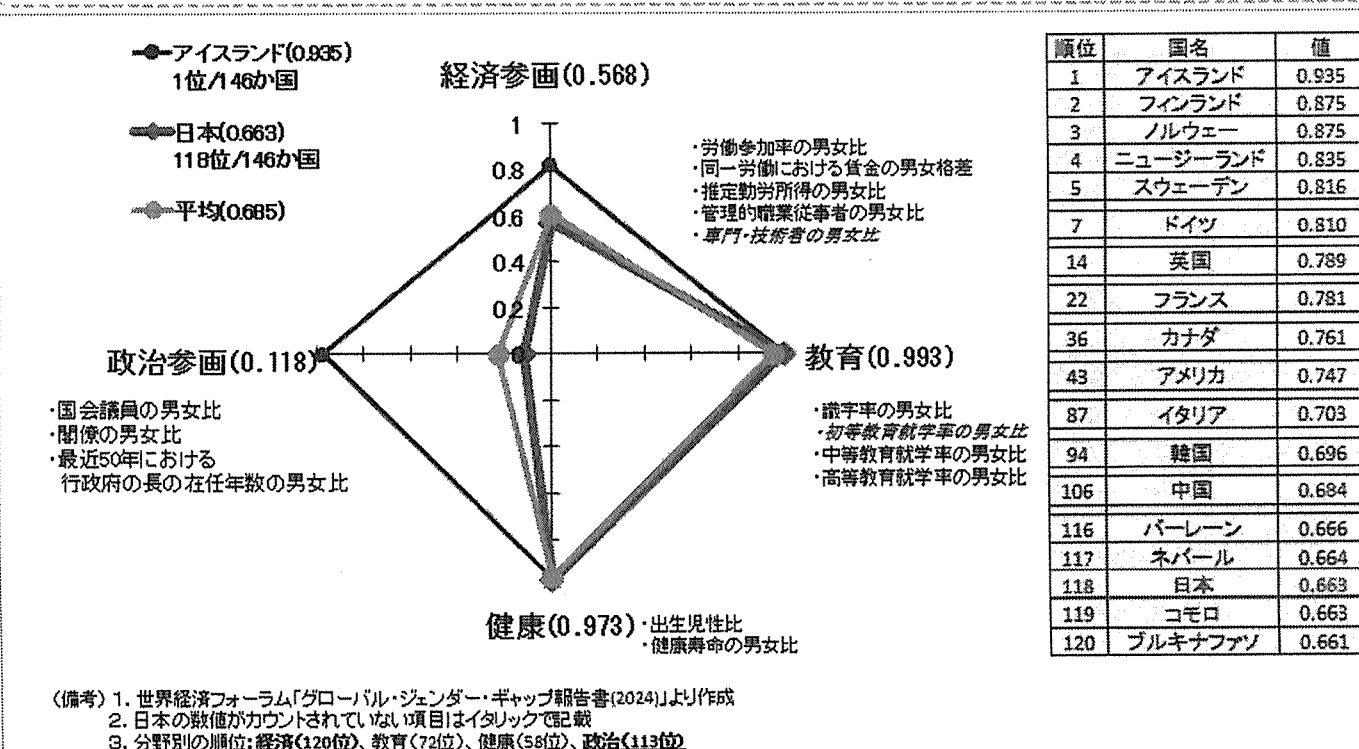
- (備考) 1. 総務省「労働力調査（基本集計）」より作成。
2. 労働力率は、「労働力人口（就業者＋完全失業者）」／「15歳以上人口」×100。

(出典) 「男女共同参画白書」 令和4年版 https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r04/zentai/html/zuhyo/zuhyo02-04.html

(2) 男女共同参画に関する国際的な指数

ジェンダー・ギャップ指数(GGI) 2024年

・スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が公表。男性に対する女性の割合(女性の数値/男性の数値)を示しており、0が完全不平等、1が完全平等となり、1に近いほど順位が高いとされている。
・日本は146か国中118位。「教育」と「健康」の値は世界トップクラスだが、「政治」と「経済」の値が低い。



(出典) 内閣府男女共同参画局 「男女共同参画に関する国際的な指数」 https://www.gender.go.jp/international/int_syogaikoku/int_shihyo/index.html

——このページには何も記入しないこと——

————ここから記入すること————

(次へ続く)

大問 2

——ここから記入すること——

(裏へ続く)

——ここから記入すること——

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——